

キリスト教社会福祉学研究

55号

Christian Social Welfare Science

2022

CSWS

巻頭言	「キリスト教社会福祉」という看板を問い直す	柴田 謙治
特集論文	現象学的なキリスト教社会福祉研究の試み — 学びの方法としての対話とリフレクション — 「実践知」で拓くソーシャルワークの新たな地平 — 「VUCA」の時代における現場に根差した「知」の意義と可能性 — 権威と良心 — 制度化されない社会から生まれる集団的責任 ソーシャルワーカーはいかにしてソーシャルワーカーになるのか ：精神保健領域のソーシャルワーカーへの経年インタビュー調査 認知症の人と共に生きること — 「エピソード記述」を通して — 「かわり」の意味：「知る」と「分かる」ことの違い — ソーシャルベダゴジーにヒントを得て — ソーシャルベダゴジーとしての児童養護実践 — 施設職員にとっての理論と実践 — 児童養護施設で暮らすことを支えるリズム ：措置後数ヶ月の幼児のエピソードから考える 行動障害を伴う自閉スペクトラム症（ASD）のある人の暮らしの場づくり 他者への関わりと変容する自己の内面 — 津久井やまゆり園利用者の意思決定支援事業に関わって — ホッとスペース中原の取り組み — 「支え手」と「受け手」の境界を超えて —	細井 勇 空閑 浩人 佐藤 俊一 大谷 京子 市瀬 晶子 鬼塚 香 楠原 真也 大塚 類子 立脇 恵子 内嶋 順一 佐々木 炎
研究ノート	坂本道子 著『ディアコニッセの思想と福祉実践 — ある奉仕女の人物史を中心に— 『筑豊の子供を守る会』関係資料集成 編集委員会 編 『筑豊の子供を守る会』関係資料集成 全8巻 細井勇・城島泰伸 編『筑豊の生活保護とキリスト教 — 「制度」か「人間」かをめぐる運動史』	柘植 秀通 杉山 博昭 杉山 博昭 滝口 真
実践報告		
書評		
第62回大会	第62回大会報告	